

ケーススタディ

SASTRA TECHNOLOGIES

THE GOOD



監視

Sastra Technologies は、サイト監視ツールを Monitor.us から Site24x7 に切り替えることで、レイテンシを適切に対応できるようになりました。

KTP RADHIKA



2010年にパートナー2人によってチェンナイで設立されたスタートアップである Sastra Technologies Pvt Ltd は、クラウド上でウェブソリューションとエンタープライズデータ統合を提供しています。同社には2つのソリューションがあります。1つは、ホスピタリティー業界向け、もう1つは一般的な文書表示と支払い回収アプリケーションです。どちらもサービスとして販売されています。

クラウドベースのソリューションプロバイダである Sastra は、主に Rackspace、DigitalOcean、Amazon のホスティングサービスを利用しています。

Sastra は 20 社近くの顧客を抱えており、そのほとんどが実際に集金を行っています。「どんな繰り返しの支払いでも、債務者がウェブ上にログインして支払いをすることができるようにしたいのは明らかです」 Sastra Technologies のエンジニアリング担当ディレクター、Sridhar Pandurangiah は言います。

PayPal のようなペイメントアグリゲーターとは異なり、Sastra の焦点は、中小企業でも利用できるようにソリューションを提供することです。「私たちはアグリゲーターへのゲートウェイを提供しています」と Pandurangiah は説明します。

Pandurangiah によると、大規模な IT チームが存在しないため、同社は IT ニーズのために DevOps に従っています。「当社のサーバーのほとんどは Rackspace または DigitalOcean のどちらかで、一部は Amazon にあります。主に Unix でシェルスクリプトを書くか、Vagrant のようなプロビジョニングソフトウェアを使って自動化しています。最速で、注文を受けてから 7.5 分後にサイトを立ち上げられます。URL の登録からソリューションが完成するまでの時間は、自動化されているため、わずか 7.5 分です」

課題と解決策

では、Sastra が ManageEngine の Site24x7 ソリューションを選択するきっかけとなった課題は何だったのでしょうか？

「私たちは簡単なウェブサイトを作っていません」と Pandurangiah は言います。「私たちのサイトを見たとき、単純なウェブサイトのように見えるかもしれませんが、サイト自体は、書類の表示、支払いの回収、住所の変更、ローンの詳細の表示に関して多くの機能を持っています。私たちはこれを単なるサイトではなく、ウェブソリューションと呼んでいます。

したがって、クラウド上に大きな機能がある場合、最大の課題はラストマイルにおける応答時間です。最大の応答時間は、ラストマイル接続とサーバー間のレイテンシが非常に短い場合にのみ発生します。私たちの課題は、レイテンシの数値をできるだけ低く抑えることでした。そのためには、まずレイテンシを測定する必要がありました」

Site24x7 を使用する前、Sastra は当初 Pingdom などの単純なツールを使用していました。



Site24x7 は、HTTPS、SMTP、メールサーバーRTT、SSL、Ping などのさまざまなプロトコルをサポートしています。ウェブアプリケーション監視機能を使うと、複数ステップのウェブトランザクションを簡易化できます。

Srinivasa Raghavan,
Site24x7、ManageEngine のプロダクトマネージャー



私たちの課題は、レイテンシの数値をできるだけ低く抑えることでした。そのためには、まずレイテンシを測定する必要がありました。

Sridhar Pandurangiah,
Sastra Technologies のエンジニアリングディレクター

「遅延がどこにあるのかについて大量の情報を与えてくれるツールですが、ネットワークについての情報はほとんど取得できません。主に、提供されているページについての情報が得られるだけです。実際は、サーバーとラストマイルの接続性について示してくれるソリューションが必要でした。その後、ラストマイルの接続性について取得可能な Monitor.us に変更しましたが、情報の参照方法は非常に分かりにくいものでした。絶対的な数字ではなかったのです。求めていたのは、トレンド分析ではなく絶対値でした。その後、Site24x7 の広告を見てクリックしました。すると、サーバーのすぐ隣にポップアップで、ページロードのレイテンシを絶対的な数字で表示してくれたので登録することにしたのです」と Pandurangiah は言います。

Site24x7 は、ボトルネックがどこにあるかについての情報を Sastra に提供します。

Site24x7 のプロダクトマネージャーである ManageEngine の Srinivasa Raghavan 氏は、このソリューションのその他の機能について説明します。Site24x7 は、ユーザーの観点からの統合ウェブサイト監視、アプリケーションパフォーマンス監視、サーバー監視、一般公開を含むプライベートクラウドの監視などの、インフラストラクチャ監視も提供しています。

「Site24x7 は、HTTP、HTTPS、SMTP、POP、DNS、TCP、メールサーバーRTT、IMAP、SSL、Ping などのさまざまなプロトコルをサポートしています」と Raghavan 氏は述べています。

Sastra は、2013 年 4 月に Monitor.us から Site24x7 に移行しました。実装について、Pandurangiah は非常に簡単だったと言います。「登録して、サイトに必要なモニターの作成を開始するだけなんですから。出会った中で最も費用対効果の高いソリューションです」

メリット

Pandurangiah 氏によると、ManageEngine のソリューションは、非常に費用対効果が高いという。「おそらく同様のソリューションのコストの約 10% です」。

WebTrek か NewRelic を見れば、同じサービスを提供する、価格設定のロールスロイスと呼ぶことができるでしょう。Site24x7 のパフォーマンス対価格比は、非常に高いと評価できます」と彼は言います。





Pandurangiah氏は、このソリューションによってサイトのパフォーマンスが向上したと語っていますが、パフォーマンスに関して難しいのは、「実際にサイトを構築する前にサイトを最適化することはできません」と加えて述べています。

「最初に構築し、実際の環境にユーザーを乗せてから、パフォーマンスが実際に向上するようにさまざまなコンポーネントに変更を加え続けます」と言います。

そのためには、訪問者が実際にブラウザにURLをロードしてからのパフォーマンスを最初に測定する必要があります、と言います。「Site24x7は、ある特定の場所（この場合はインド）から取得しているパフォーマンスの数値を示してくれます」と言います。「例えば、サイトの1つで、5214ミリ秒のパフォーマンスがあるとしましょう。そしたら、なぜこんなに長い時間がかかるのか、Site24x7では理解することができます。サーバーのログを確認して、時間を短縮することができます。最適化を行うには、まず数字を知る必要があります。Site24x7ではそれが確認できます。これは私にとって非常に重要なのです」

Pandurangiah氏は、利益の定量化について、次のように述べています。

Site24x7は、ユーザーの観点からの統合Webサイト監視、アプリケーションパフォーマンス監視、サーバー監視、パブリックおよびプライベートクラウド監視など、IT向けのクラウドインフラストラクチャ監視を提供します。

「メモリの半分は、米国よりもオランダのほうがパフォーマンスの面で優れています。そこで、私たちはすべてのサイトをアメリカからオランダに移しました。パフォーマンスは、重要な意思決定要因です。米国では、重いサイトの1つでは3800ミリ秒も掛かっていましたが、オランダに移行後、サイト自体は変更することなく802ミリ秒になりました」

それで、Sastraのビジネスは改善しましたか？
Pandurangiahは、サイトをロードした人は誰でもすぐにそのサイトが表示されてほしいと言います。「これらの測定はすべてこちらで行いますが、最終的に重要なのは訪問者の視点であり、これらの数値は実際にその視点の改善に役立ちます。科学的な測定をする時、いつも短時間にどれだけ早くページをロードできるかを顧客に示し、他の競合他社と比較します」

今後、Sastraの目標は、ITソリューションを洗練させるためのコストを削減することです。「主な目的は、設備投資を削減し、それを運用に支出にすることです。現在、2つの製品があります。3つ目は金融業界向けで、サブスクリプションモデルで提供することになると思いますが、マージン関連でのプレッシャーが非常に高く、金利が非常に高くなっているという事実から、貸出業界をターゲットにしています」と、Pandurangiahは言います。

そこで、Sastraは、購読モデルの金融機関へのサービスとして提供できるビジネスインテリジェンスソリューションを検討しています。